

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2864 号

Co-expression of ERG and CD31 in a subset of CIC-rearranged sarcoma: a potential diagnostic pitfall

CIC 再構成肉腫の一部は ERG と CD31 を共発現し、血管肉腫との鑑別を要する

児島 直樹 (こじま なおき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、CIC 再構成肉腫 30 例において、免疫組織化学的な血管内皮マーカーである ERG と CD31 の発現頻度を調べ、陽性例の臨床病理学的特徴を明らかにし、非共発現例や血管肉腫と比較検討したものである。

**【新規性、創造性】** 本研究では ERG/CD31 共発現する CIC 再構成肉腫という一群を新たに見出した。臨床病理学的・分子的な解析でその特徴を鮮明に描き出しており、これは肉腫の分類体系への新たな示唆を与え、病理診断においても実践的な注意点を喚起するなど、創造性を備えている。

**【方法・研究倫理】** 本研究では、ホルマリン固定パラフィン包埋アーカイブ組織を用いて、臨床病理学的解析、次世代シーケンス、DNA メチル化プロファイリングを行っている。すべて国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得て実施されており (研究課題番号: 2014-089)、研究倫理が順守されている。

**【学術的意義】** ERG/CD31 を発現する CIC 再構成肉腫の一群があることを見出し、その臨床病理学的・分子遺伝学的位置づけを明らかにしており、腫瘍分類学における意義が大きい。さらに、病理診断においても大きな問題となりうる一群であり、鑑別診断にあたって重視すべき点もよく整理されていることから、病理診断学においても重要な業績である。

**【考察・今後の発展】** CIC 再構成肉腫には ERG と CD31 を共発現する一群があり、血管肉腫との鑑別を要することが明らかになった。一方で稀な CIC 遺伝子異常を有し血管肉腫と解釈されている例も文献的に少数報告されており、分類学的な課題は若干残されている。また一般に多彩な形質を示しがちな肉腫の分類において、形質と遺伝子異常とのどちらに重点をおいて分類すべきかについても、今回の結果を参考に検討を進める必要がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。